

5月11日 (木)

(ファスコ取締役)

投資のベースキャンプ

ゲスト: 中村 孝也さん

資産運用もグローバル化!?

(スシロー、松屋、餃子の王将、カレーハウスコッポラ番屋
ケンタッキー等 **リーズナブルな価格の外食チェーンを継続直上げ!**)

物価上昇の要因の一つ ... 「**円安**」 (-時7ドル131円台も)

↳ コスト高 → 日本企業の業績不振 → 株価下落...!?



円を資産を持ち続けるのは危険
日本円以外に資産を物そう

✓ 注目すべき業種 ... 経済に直結している回復の早い業種。

→ ① エネルギー 「経済活性化には不可欠。
自動車、飛行機、船舶、工場稼働にも必要」
エクソモビルコポレーション、シェvron、ネクストエラ・エナジー

→ ② 金融 「企業にお金を貸すのがメイン。企業が
活性化していく中で重要な役割。」
JPモルガン、バンクオブアメリカ、モルガンスタンレー、ゴールドマンサックス

「現実を知り、どう対処していくべきか考えて資産運用しよう!」
by グローバルファイナンシャルスクール 市川 雄一郎 校長

シナリオ分析

✓ ロシア、ウクライナ侵攻によるシナリオ別考え。
シナリオ①: 日本周辺にも有事が飛び火

シナリオ1の原油価格200円だと経常収支も赤字となる可能性あり(シナリオ1でドル円80円でも赤字)。

シナリオ1だと株価は高値から50%強の下落となる可能性あり(コロナ時下落率32%、リーマン・ショック時同62%)。

シナリオ②

シナリオ③

戦闘が激化・長期化

早期講和、制裁緩む

(貿易・景気停滞と原油高)

(原油が侵攻前の世界)

まとめ 前提・着地を想定して、学習しておくことで有事に備える。